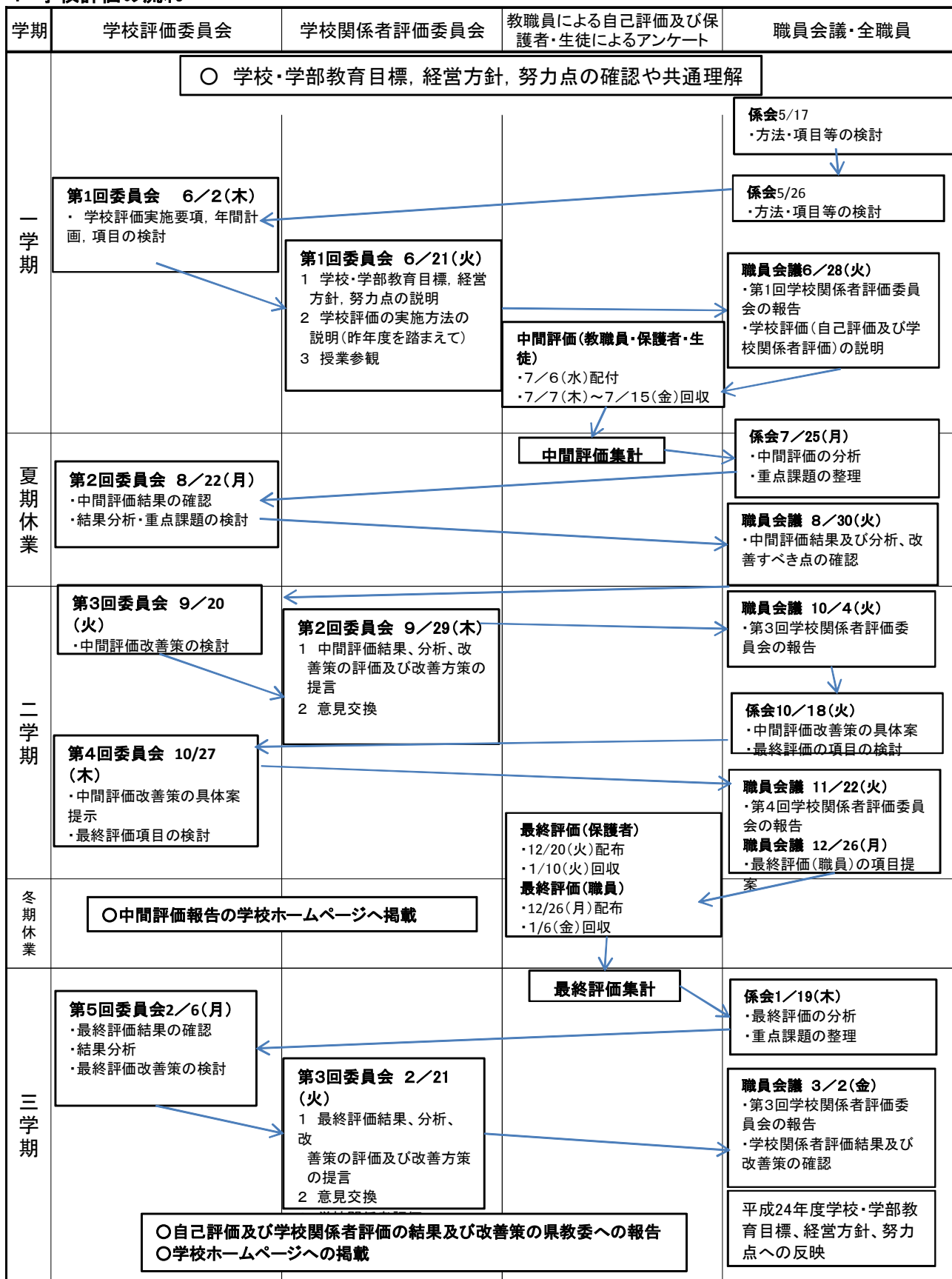


# 平成23年度 学校評価(中間)アンケート結果報告

## 1 学校評価の流れ



## 2 アンケートの項目と結果一覧

### (1) 職員アンケート

※ 評価基準 4：十分達成できている 3：おおむね達成できている 2：やや不十分である 1：不十分である

#### ① 全体 (121人)

(人)

職	番号	項目	4	3	2	1	平均値	総
学校経営案・努力点	1	学習指導要領の趣旨を踏まえた小・中・高一貫性のある教育課程の編成と実施に努めているか。	15	88	12	0	3.03	6
	2	2年後の知肢併置化を見据え、それぞれの障害特性や多様化した実態等に応じた指導内容・方法・形態、学校行事等の検討を行っているか。	14	74	27	1	2.87	5
	3	児童生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握した「個別の指導計画」のPDCAサイクルに基づく授業実践の充実に努めているか。	20	87	8	1	3.09	5
	4	身体の動きや、心理面、認知面の特性等を踏まえた指導の充実と授業の改善を行っているか。	26	85	4	0	3.19	6
	5	特別支援学校としての専門性向上に努めているか。	35	71	10	0	3.22	5
	6	看護師を中心とする医療的ケアの安全・確実な実施に努めているか。	58	58	3	0	3.46	2
	7	緊急対応マニュアル等の再点検・充実を図っているか。	24	85	10	0	3.12	2
	8	安全点検やヒヤリ・ハット報告の実施及びその対応策の共通実践に努めているか。	38	76	6	0	3.27	1
	9	卒業後の社会参加・自立を見通した、母子分離や心理的離乳を促進する活動の検討を行っているか。	12	76	31	0	2.84	2
	10	主体的な公共機関、公共交通機関の活用力の育成に努めているか。	19	68	29	4	2.85	1
	11	産業現場等の実習、就業体験、進学（大学・職業訓練校）対策の充実に努めているか。	32	72	13	1	3.14	3
	12	保護者との連携を一層推進するための学年・学部移行連絡会等の教育相談体制の充実を図っているか。	21	90	9	0	3.10	1
	13	関係機関とのネットワークを広げ、「個別の教育支援計画」に基づく本校児童生徒の支援及び地域の特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援体制の更なる充実に努めているか。	18	87	13	0	3.04	3
	14	近隣の諸学校や地域との交流及び共同学習、ホームページ等による情報発信の推進に努めているか。	19	77	15	6	2.93	4
その他	23	上記の項目を踏まえて、目指す学校像に近付いていると思いますか。	17	94	7	0	3.09	3
	24	上記の項目を踏まえて、目指す児童生徒像に近付いていると思いますか。	14	97	7	0	3.06	3
	25	上記の項目を踏まえて、目指す教師像に近付いていると思いますか。	11	94	12	0	2.99	4
	26	日頃から、学校・学部教育目標、努力点等の達成を意識した教育活動が行われているか。	12	91	14	1	2.97	3
	27	安全で楽しい給食の時間を実現するために、児童生徒の実態に応じた対応や支援・指導を行うことができているか。	64	52	2	0	3.53	3
	28	校務分掌における各部・係や各種委員会は、連絡調整を図りながら適切に機能しているか。	15	92	11	0	3.03	3
	29	学校運営等に関する情報の周知がなされ、全校的な共通理解に立って業務を推進しているか。	10	90	16	1	2.93	4
	30	事務の効率化を図るための業務内容の改善が行われているか。	10	62	39	6	2.65	4
	31	学習環境（教室内外の設営、校舎内外の清掃・緑化）が整備されているか。	18	81	19	0	2.99	3
	32	児童生徒の個人情報も、厳正に保護・管理されているか。	34	74	8	0	3.22	5
33	学校職員として、保護者や県民の信頼に応えられるよう服務規律の厳正確保に努めているか。	44	72	1	0	3.37	4	
34	学校評価の方法や項目の設定（内容、数）は適切であるか。	29	83	6	0	3.20	3	

※ 評価基準 3と4を合わせて9割以上 or 4が3割以上、1と2を合わせて3割以上、平均値が3.5以上と2.5以下

## ② 小学部 (26人)

(人)

職	番	項目	4	3	2	1	評価	数
小学部 努力点	15	授業実践を通じた研修などにより、PDCAサイクルを充実させ学習活動や指導の手立て等を工夫しているか。	8	17	0	0	3.32	1
	16	学習集団ごとにケース会を持ち、実態把握、目標設定、評価などの情報を共有し、共通実践を図っているか。	11	13	1	0	3.40	1
	17	保護者と連絡帳等を通して連携を図りながら、児童の健康観察、健康管理を行っているか。	20	5	0	0	3.80	1
	18	水分補給や食後の歯みがき指導の機会を大切にし、継続して取り組んでいるか。	22	3	0	0	3.88	1
	19	個々の児童の将来の自己実現に向け、必要とされる資質を明確にし、各学習の計画・実施を行っているか。	6	18	1	0	3.20	1
	20	行事や学習など様々な集団での活動において、自己決定・自己表現を行う場を設定しているか。	11	14	1	0	3.39	1
	21	実物に触れたり、実体験をしたりできる学習活動を多く設定しているか。	6	15	5	0	3.04	1
	22	学級において本人の力を生かせるような一人一役以上の役割を与え、継続して取り組ませるようにしているか。	9	13	4	0	3.19	1

## ③ 中学部 (28人)

(人)

職	番	項目	4	3	2	1	評価
中学部 努力点	15	教科等や授業担当者を学部会終了後などを利用して行い、題材ごとの目標設定の確認や指導についての反省、意見交換を実施して授業に反映しているか。	0	16	11	1	2.54
	16	授業等で自分の意見等を言う場を必ず設定しているか。	5	18	5	0	3.00
	17	保護者との連携を密に図りながら、障害の状態や発達段階に応じて日常生活や保健体育の学習等で自分の身体・健康についての学習を継続的に行っているか。	5	21	2	0	3.11
	18	規則正しい生活を送れるような支援を行っているか。	14	14	0	0	3.50
	19	保護者との教育相談の内容と回数の充実を図り、生徒に関して得られた情報や支援内容等を学部会などで共有を徹底し、適切に対処しているか。	4	18	6	0	2.93
	20	あいさつ、言葉遣い、学校内外でのルールやマナー等の徹底と場に応じた人へのかかわり方を日常生活の中で学ぶようにしているか。	3	21	4	0	2.96
	21	自分で行動する体験を取り入れた校外学習（職場見学、職場体験も含む）の推進に努めているか。	6	20	2	0	3.14
	22	学校行事等や授業、諸活動での仕事の役割分担や実施をとおり、職業や役割を体験する場を設けているか。	8	16	4	0	3.14

## ④ 高等部 (36人)

(人)

職	番	項目	4	3	2	1	評価
高等部 努力点	15	実体験による学習や学校外からの評価を生かして、個々の指導内容を明確にしているか。	6	27	3	0	3.08
	16	一人一人の教育的ニーズに応じた放課後や夏季休業の積極的な活用など、将来の生活に必要な取組が主体的に行われるよう指導しているか。	7	23	6	0	3.03
	17	卒業後も取り組める運動やレクリエーションについて指導の充実を図っているか。（球技大会、レクリエーション大会等の実施）	8	22	6	0	3.06
	18	自分の健康管理に向けた目標を設定させ、主体的な取組を継続して行うことができるよう支援しているか。	4	26	6	0	2.94
	19	生徒の不安や悩み目に向けて個々に教育相談を実施し、生徒の内面に対する共感的理解をもって指導にあたっているか。	4	30	1	1	3.03
	20	高等学校との交流や共同学習において、生徒が主体的に計画して行動することができるような場を設定できているか。	8	24	3	1	3.08

21	進路・実習希望調査時に3者(生徒、保護者、担任)での相談時間の確保に努めているか。	18	16	2	0	3.44
22	自己理解を深めるための指導を徹底することで自分の課題を意識させ、優先的な課題に取り組みせるようにしているか。	6	26	4	0	3.06

⑤ 訪問教育 (7人)

(人)

職	番号	項目	4	3	2	1	平均
訪問教育努力点	15	周囲でかわわる人たちのニーズを把握しながら指導目標や指導内容を設定しているか。	5	2	0	0	3.71
	16	自分で選択、決定する場面を意図的に設定しているか。	5	2	0	0	3.71
	17	保護者や施設、リハ関係者と連携し、健康状態や学習における適切な姿勢を常に把握し、共通理解を行いながら授業を行っているか。	4	3	0	0	3.57
	18	心地よい姿勢や動き、感覚刺激を多く経験できるような学習内容を設定しているか。	2	5	0	0	3.29
	19	事例研修や自立活動部との複数訪問、集団学習などを通して、複数の視点から学習目標や内容の設定、改善を行っているか。	4	3	0	0	3.57
	20	働き掛けに対する体の動きや表情、発声などの様子を丁寧にとらえて意味付けを行っているか。	3	4	0	0	3.43
	21	学校や集団の楽しい雰囲気を感ずることができるよう、スクーリングや集団学習、同学年交流やビデオを通じた交流などを設定しているか。	2	4	1	0	3.143
22	受信や発信する力を発揮することができるように、実態に応じてスイッチ教材や視聴覚機器を取り入れ、日常生活の中でも役立てることができるようにしているか。	2	5	0	0	3.286	

⑥ 寄宿舎 (23人)

(人)

職	番号	項目	4	3	2	1	平均
寄宿舎努力点	1	寄宿舎は、寄宿舎生の生活力の向上を図る支援を行っているか。	9	14	0	0	3.39
	2	寄宿舎は、寄宿舎生の責任感や、仲間意識を高める指導を行っているか。	10	13	0	0	3.44
	3	寄宿舎は、寄宿舎生の健康や安全に対する意識を高める指導を行っているか。	11	12	0	0	3.48
	4	寄宿舎は、家庭や学部等と連携して指導に取り組むことができているか。	7	15	1	0	3.26

⑦ 事務部 (8人)

(人)

職	番号	項目	4	3	2	1	平均	無答
事務部	1	事務部は、電話・来客の応対は、迅速・丁寧に行っているか。	6	1	1	0	3.63	0
	2	事務部は、事務の効率化・簡素化を図るための業務内容の改善を行っているか。	1	7	0	0	3.13	0
	3	事務部は、2年後の知肢併置化を見据え、移転準備及び施設設備の整備に関わる事務は、適時、適切に行っているか。	2	6	0	0	3.25	0
	4	事務部は、日常の校内巡視等により、安全安心な教育環境の整備に努めているか。	2	6	0	0	3.25	0
	5	事務部は、施設管理上の問題点が発生した場合に、迅速な対応ができているか。	4	2	2	0	3.25	0
	6	事務部は、保護者や担任と報告・連絡・相談等を的確に行いながら介助業務を遂行できているか。	4	0	1	0	3.60	3
	7	事務部は、児童生徒理解に努め、人権に配慮した介助業務を行っているか。	3	1	1	0	3.40	3

(2) 保護者アンケートの項目と結果一覧

回答数 94/121 人中 ※ 評価基準～4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない (人)

職	番	項目	4	3	2	1	平均	無答
全 体	1	お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。	83	10	1	0	3.87	0
	2	お子さんは、授業で自分のよさを発揮できていると思いますか。	38	50	5	1	3.33	0
	3	お子さんにとって、自立活動の指導は、学習上・生活上困っていることの改善・克服につながっていると思いますか。	50	40	2	1	3.50	1
	4	学校は、児童生徒一人一人の自立や社会参加の姿を想定し、それに向けた取組を十分行っていると思いますか。	46	41	6	0	3.43	1
	5	学校は、児童生徒の卒業後の生活（進路）について、本人や保護者との情報共有や進路相談を積極的に行っていると思いますか。	48	33	11	0	3.40	2
	6	児童生徒会で「あいさつ運動」に取り組んでいますが、誰でもあいさつをかわす明るい雰囲気だと思いませんか。	48	36	9	0	3.42	1
	7	学校は、児童生徒が健康で安全な学校生活を送るための対策や環境整備を十分行っていると思いますか。	44	32	17	0	3.29	1
	8	お子さんの学校での学習の成果を生かして家庭でも取り組んでいることがありますか。	26	49	12	2	3.11	5
	9	学校の、教育目標や経営方針などの説明について十分理解できましたか。	41	47	6	0	3.37	0
	10	学校は、保護者から出た様々な意見・要望を、学校経営に生かす努力をしていますか。	33	51	9	1	3.23	0
	11	学校は、学校便りや学級便り、ホームページなどで学校の教育活動に関する様々な情報を積極的に提供していますか。	46	40	5	2	3.40	1
	12	学校は、学校行事などの様々な学習活動について、年度ごとに改善や工夫をしていると思いますか。	39	39	14	2	3.22	0
	13	アンケートの評価項目（数や内容）は適切だったと思いませんか。	40	42	6	2	3.33	4
	14	答えにくかった質問項目はありませんでしたか。ありましたら質問項目の番号に○を付けてください。 3(2) 4(2) 5(2) 6(1) 7(1) 8(5) 10(2) 12(2) 13(1) 14(1)						

寄宿舎 (回答数 13/18 人中)

※ 評価基準～4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない (人)

職	番	項目	4	3	2	1	平均	無答
寄 宿 舎	1	寄宿舎は、寄宿舎生の生活力の向上を図る支援を行っていると思いますか。	10	3	0	0	3.77	0
	2	寄宿舎は、寄宿舎生の責任感や、仲間意識を高める指導を行っていると思いますか。	10	3	0	0	3.77	0
	3	寄宿舎は、寄宿舎生の健康や安全に対する意識を高める指導を行っていると思いますか。	11	2	0	0	3.85	0
	4	寄宿舎は、御家庭と連携して、指導に取り組むことができていると思いますか。	10	3	0	0	3.77	0

(3) 生徒アンケートの項目と結果一覧

回答数 20/21 人中 ※ 評価基準～4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない (人)

番	項目	4	3	2	1	平均
1	学校生活は、楽しく充実していると思う。	13	7	0	0	3.65
2	あいさつは自分からするように心がけている。	7	10	3	0	3.20
3	学校の施設は、安全で過ごしやすいと思う。	12	5	3	0	3.45
4	友達との関係はうまくいっている。	14	4	2	0	3.60
5	授業は、わかりやすい。	9	6	4	1	3.15
6	授業で分からないところは、自分から先生に聞いている。	5	12	3	0	3.10
7	困ったことや悩みがあるとき、先生や家族に相談しようと思う。	13	3	2	2	3.35
8	将来の進路先の希望について、今考えている所があったら、書いてみましょう。(記述)					
9	8に対して努力をしていると思いますか。	3	9	4	2	2.72

### 3 分析と今後の課題

全ての項目において概ね高い評価が得られた。昨年度「改善が必要」とされた項目については、具体的な改善策を出し合って、各係等に下ろし、実行された結果が大きく反映されているものと思われる。

○ 特に以下の項目においては昨年度と比較して注目したい点である。

1 学習指導要領の趣旨を踏まえた小・中・高一貫性のある教育課程の編成と実施に努めているか。

- ・ 昨年度までは「改善が必要」とされていた項目であるが、昨年度の取組（指導計画の作成）が、具体的なまた全体的な取組の実感につながっているものとする。また、1学期が終わって教育課程の評価の実施も行われ、より意識を高く持つことができると考える。

4 身体の動きや、心理面、認知面の特性等を踏まえた指導の充実と授業の改善を行っているか。

5 特別支援学校としての専門性向上に努めているか。例えば、研修ニーズに応じた研修会の開催、授業公開に向けた取組（指導内容・方法・教具等の研究の深化による授業の充実）。

- ・ 専門性の向上という点で各種の研修の機会を積極的に活用していることが伺える。また、今年度授業公開に向けて佐藤先生（岡山大学教授）などから直接指導してもらったり、課程・学級等の学習集団での指導・支援会における担任間での話し合いの充実が図れたりしたことも要因と考える。

6 看護師を中心とする医療的ケアの安全・確実な実施に努めているか。（医療的ケアの全体研修、保護者や主治医・教員等との連携及び安全対策）

- ・ 例年高い評価を得ている。今年度も夏期休業中に、自立活動部と連携した事例の研修も行われ、医ケア対象の児童生徒を担当していない職員にとっても意識をさらに高く持つことができていると考える。

9 卒業後の社会参加・自立を見通した、母子分離や心理的離乳を促進する活動の検討を行っているか。

10 主体的な公共機関、公共交通機関の活用力の育成に努めているか。

11 産業現場等の実習、就業体験、進学（大学・職業訓練校）対策の充実に努めているか。

21・22 各学部の進路に関する努力点

保護者アンケート

4 学校は、児童生徒一人一人の自立や社会参加の姿を想定し、それに向けた取組を十分行っていると思いますか。 2.99（前年度）→3.40（今年度）

5 学校は、児童生徒の卒業後の生活（進路）について、本人や保護者との情報共有や進路相談を積極的に行っていると思いますか。 2.68→3.35

- ・ 進路指導に関する項目は、高等部だけでなく他学部からも昨年度より高い評価が得られている。学部を超えた情報の共有、進路開拓に向けた全校的な取組、卒業後の社会参加と自立に向けた小・中学部からの指導の必要性及び実践など、具体的な動きを互いに評価している現れと考える。また、保護者も年度当初の学部PTAなどでの進路についての説明などを受けて職員以上に感じていると考えられる。

保護者アンケート

13 アンケートの評価項目（数や内容）は適切だったと思いますか。 2.75→3.30

- ・ 若干答えづらいと感じている方もいるが、改善を重ねた結果高い評価を得た。

- 全体若しくは学部で改善したいという意識が高かったものについては、以下の通り具体的改善策がだされた。
- ・全体：学校経営方針・努力点 30－事務の効率化を図るための業務内容の改善が行われているか。

1学期の取組及び結果の分析（課題）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>提出書類（各種のシート）については、校内支援係が中心になって、夏季休業中に関係の係（教育課程・自活・支援・保健・給食）と一同には会せなかったが、それぞれの係に個別に聞き取りをして、探っている。</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>知肢併置に向けても、個別の教育支援計画のシートの見直しが必要（保護者の負担にならないもの）で、今年度中に見直しの見直しを持ってるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいあいシートについては、まだ始まったばかりで改善の余地がある。自活部で検討して活用できるものにしていく方向にある。</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>9/27 関係の係が一堂に会して話し合いを行った。今後も会（→各係会→関係の係会→主事等会等→学部会→）を開き方向性が決まったら、全職員へ示す予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような手続きで作成するのかを明確にしていく。活用されるように校内体勢を整備していく。個別の指導計画や通知表と関連させながら一貫した書式の検討をする。</li> </ul>

- ・全体：学校経営方針・努力点 2－2年後の知肢併置化を見据え、それぞれの障害特性や多様化した実態等に  
 応じた指導内容・方法・形態、学校行事等の検討を行っているか。

1学期の取組及び結果の分析（課題）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に合った時間割や指導形態など、このままでいいのか？</li> <li>イメージしにくい。</li> <li>知肢併置化について、教育課程係などで話し合われたことを全職員に報告している。</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>他校との情報交換を更に進めるとともに、知肢併置に向けての委員会や係会での話題を全職員に周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事ごとのアンケートで、知肢併置に向けてのアイデアを書く項目を設ける。（各行事の係）</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程については、係・教務を通して随時情報交換を行っている。</li> <li>H25年度までのスケジュール案作成</li> <li>武岡台養護との情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会・学習発表会反省アンケート</li> <li>儀式的行事反省アンケート</li> <li>各学部行事反省アンケート</li> </ul>

- ・小学部：学校経営方針・努力点 9－卒業後の社会参加・自立を見通した、母子分離や心理的離乳を促進する  
 活動の検討を行っているか。

1学期の取組及び結果の分析（課題）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>母子分離や心理的離乳をどう捉える？</li> </ul>		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理的自立を促す方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊学習については継続して検討をしている。</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>課程別会で「心理的自立」について話し合った意見を基に学部会で話し合った。このような話し合いを重ねて、学部としての「心理的自立」の捉え方を共通理解していく。</li> <li>現在日々取り組んでいることが、自立につながっていくことを保護者にもきちんと伝えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊学習が可能かどうかを各課程で話し合い、各課程に出た意見を教育課程係が学部会で提案し、学部職員で共通理解をした。</li> <li>現在、遠足・集団宿泊的行事係が、県内の特別支援学校の宿泊学習についての情報を収集しており、教育課程係は各課程の宿泊学習の意義やねらいの骨子を考えている。それらの情報を基に、今後は各課程で次年度実施の有無も含めて話し合う予定。</li> </ul>

・小学部：学校経営方針・努力点 10—主体的な公共機関，公共交通機関の活用力の育成に努めているか。

1学期の取組及び結果の分析（課題）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>校外学習で公共機関，公共交通機関の積極的な利用。</li> </ul>	
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用に当たって子供自身の自立を促すような配慮が必要。また，子供一人一人のめあてをしっかりとって計画していくことが大事で，その実現のために必要に応じて公共機関，公共交通機関の利用していく。</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>課程別での話し合いを重ねている。</li> <li>10/13 学部会で話題にした。</li> <li>今後の学部会で現時点での方向性を提案予定。</li> </ul>

・小学部：自由記述—小学部のため，進路に関してまだ理解に乏しいところがあります。

1学期の取組及び結果の分析（課題）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報をほしい保護者の中には，デイサービス利用をしている保護者から情報を聞いて利用先が見つかるなどのケースがある。</li> </ul>	
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を職員が共有し，必要とされるところに情報提供をしていく。</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>「これまでに利用した施設名」のアンケートを PTA で実施した結果を共有（「進路だよりNo.4」掲載）。「施設利用に当たって，希望することや保護者の願いについて」も職員向けに集約する予定。</li> <li>学部内の職員研修（現場実習のビデオ視聴，中高進路係との懇談会等）を計画予定。</li> <li>児童・保護者にも直接目（耳）にする機会（校内実習参観，実習ビデオ視聴等）を設ける。</li> </ul>

・中学部：中学部努力点 15—教科等や授業担当者会を学部会終了後などを利用して行い，題材ごとの目標設定の確認や指導についての反省，意見交換を実施して授業に反映しているか。

1学期の取組及び結果の分析（課題）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの支援会議を利用</li> <li>集まりやすい担当同士では，その都度意見交換を行うことができたが，できない教科もあった。</li> <li>「くらし・よか」「音楽」ではファイルを作り，生徒の様子や改善した方が良い点を記入している。</li> <li>課題別，抽出指導も同様に記入し，記録ファイルを通じて授業に反映している。</li> </ul>			
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習における学習の形態の再検討が必要だと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業反省や指導・支援会などについて職員間で話せる時間確保に努める。</li> <li>担当者会を設定することが難しいケースもあるため，生徒の様子を記録し回覧するなどの工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業プリント，指導計画，指導案，宿題などネットワークファイルを設け，共有することで，それを見て確認，話し合いの場で活用する。</li> <li>課題宿題データホルダーを作っている。</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の形態の検討と素案作り</li> <li>平成 24 年度分は，12 月末までに全課程の各教科等における学習の形態案を提出し，1 月末に学部会で決定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部会後や朝の打合せ後時間を設け，活用する。</li> <li>再度資料等の早めの配布を心がける。</li> <li>積極的な記録ファイルの活用をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークにおけるファイルのデータ状況や宿題・課題プリントのレターケース活用状況を定期的にチェックし，職員に活用を促す呼びかけや聞き取りを行う。</li> </ul>

・高等部：生徒アンケート3－学校の施設は安全で過ごしやすいと思う。

1学期の取組及び結果の分析（課題）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活の中で怪我をしたり、怖い思いをしたりした生徒がいたのかもしれない。</li> </ul>	
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒対教師の相談機会を設ける。評価の低い内容についても、生徒からの相談内容として挙がり、解決できるかもしれない。</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームルーム活動で学校施設の安全面について話題にし、生徒から出た体験を基に生徒とともに改善策を練る。</li> </ul>

・高等部：生徒アンケート5－授業はわかりやすい。

6－授業でわからない所は、自分から先生に聞いている。

1学期の取組及び結果の分析（課題）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>5の評価で2をつけた生徒が二人いる。それと同時に、6でほとんどの生徒が高い評価をしている。授業はわからないところもあるが、先生に質問をすることで解消できているのかもしれない。</li> <li>入学してきた生徒の基礎・基本ができていない。</li> </ul>	
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業は少人数なので、生徒の理解を確認しながら、進めてもらえるように教科担任にも伝える必要がある。</li> <li>授業をわかりやすくするとともに、生徒が質問しやすい雰囲気を作るように努力したい。</li> <li>生徒対教師の相談機会を設ける。評価の低い内容についても、生徒からの相談内容として挙がり、解決できるかもしれない。</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒対担任の面談を設け、必要に応じて教科担当者に話をし、先生方に配慮してもらう。</li> <li>授業者は、授業の終わりに今日の授業をどの程度理解できたか、生徒の理解度をチェックし、それを次時に反映できるようにする。</li> </ul>

・高等部：生徒アンケート8－将来の進路先の希望について、今考えている所があったら、書いてみましょう。

1学期の取組及び結果の分析（課題）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に対する悩みが多く、自分になりたいものに対して何をしていけばよいかわからないのではないかな。</li> </ul>	
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年生の早い時期から進路を相談等する。</li> <li>基本的な社会人としての礼儀を職員も共に取り組んでいく。</li> </ul>
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>「社会参加」の充実。</li> <li>小学部では中学年から生単等で「働く人を見に行こう」という単元で、中学部では作業学習の時数を増やし、高等部の実習先見学や校外学習を行うことで職業観や勤労観を育むことができる。早期的な進路学習（キャリア教育も含む）を計画することで高等部段階での現場実習への取り組み方の意識が変わると思われる。</li> <li>進路相談を定期的に行うが、併せて職場見学や施設見学を保護者にも行ってもらう具体的な話ができるようにする。</li> <li>本校で本校の児童生徒を対象に、12月2日（金）福祉施設等説明会を実施した。卒業生の進路先や現場実習先、ハローワーク、障害者職業センター、障害者職業能力開発校、行政機関等呼びブース形式で行った。</li> </ul>